

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年		3年	
教科等名		国語・算数		グループ名		きのこグループ	
ねらい		・理解できる言葉やシンボルを増やす。 ・身振りや声で伝える力を伸ばす。身の回りの物に気付き、操作しながら、関連のあるもの同士を対応させる力を伸ばす。 ・言葉のもつ良さに気付き、思いをもって人と関わろうとする態度を養う。					
担当教員		池田 潤平 藪原 彩子 東 桃子					
予定授業時数		151/260.8					
使用教科書		東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫		
4	がっこうでつかうことば/みじかなものをかぞえてみよう 「おおきなこえでいってみよう」「ともだち」		・挨拶、返事、要求の言葉を知る。 ・分類 ・一対一対応	・教員の動作を模倣できる。 ・簡単な身振りでやりとりできる。	・歌や音楽、イラスト、写真を取り入れて楽しい雰囲気作りをする。		
5	なまえをしろ/ひらがなをおぼえよう 「あっちゃんあがつく」「ひらがな」	○	・絵本を見る、聞く。 ・好きな食べ物を選ぶ。 ・食べ物の名称を知る。	・絵本や演じている教員に視線を向けることができる。 ・食べ物の名称に興味をもち、教員の働き掛けに指さしなどで応じることができる。	・児童が興味をもてそうな題材を用意する。絵本などの題材は繰り返しの言葉があるものなど、親しみやすいものを用意する。		
6 7	やりとりしよう/ なかまあつめ 「おみせやさん」		・パネルシアターを見る、聞く。 ・お店に売られている物の名称を知る。 ・好きな物を選んで「ください」などの身振りをする。	・言葉の音やリズムに関心をもって見聞きすることができる。 ・身の回りの物の名称に興味をもち、教員の働き掛けに指さしなどで応じることができる。 ・簡単な身振りでやりとりできる。	・言葉掛けを統一したり、一定のルールを決めたりして、繰り返し行うことでやるべきことが分かるようにする。		
9 10	くらべてみよう 「おなじとちがう」「おおきい、ちいさい」「おおい、すくない」「ながい、みじか		・図形や絵の見比べ ・比較「大・小」の理解 ・実物による比較	・「おなじ」が分かる。 ・身の回りの物を大小に分類することができる。	・模型などの具体物を使用し、児童の興味を高め、具体物から半具体物、写真カード、イラストなど児童の実態や成長に合わせて扱う教材を変化させる。		
10 11	やってみよう げきあそび (学習発表会単元)		・道具を持ち簡単な動作をする。 ・繰り返し出てくるセリフに合わせて声を出す。	・教員の動作を模倣できる。 ・合図に合わせて声を出すことができる。	・背景を整理し見やすくし、児童が扱いやすく、見やすい大きさの教材を使用する。		
12 1	いろいろなかたち 「かたはめ」「いろいろなかたち」	○	・パネルシアターを見る、聞く。 ・型はめ、形合わせ、球体と立方体の分類をする。	・絵人形や教員の動きに注目したり、目で追ったりすることができる。 ・色板や立体の形に注目し、同じ形の上に置くことができる。	・授業の流れは見通しがもてるように年間を通しておおよそ一定にする。 ・年間を通して、名前呼び、道具遊びを行う。		
2 3	かんれんしたことば/ときのうつりかわりをしろ 「あつめてみよう」「あさひるよる」		・朝・昼・夜(晩)の挨拶を覚える。 ・季節の違いに気付く。	・朝・昼・夜の挨拶が分かり、違いに気づくことができる。 ・季節に興味を持ち、絵カード等を分けることができる。			

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

学 部		小学部		学 年		3年	
教科等名		国語・算数		グループ名		アンパンマングループ	
ねらい		・理解できる言葉やシンボル、文字を増やす。5までの数の数え方や表し方が分かる。 ・言葉でイメージする力、身振りや声で伝える力を伸ばす。身の回りにある数的要素に気付き、関連付けたり分類したりする力を伸ばす。 ・言葉や文字、数で表す良さに気付き、学んだことを生活の中で活用しようとする。					
担当教員		○遠藤 理恵 吉田 若菜					
予定授業時数		151/260.8					
使用教科書		東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫		
4	がっこうでつかうことば/みじかなものをかぞえてみよう 「おおきなこえでいってみよう」「ともだち」		・学校生活の中で使用する事柄の名称理解 ・活動の場面、状況の言葉の理解 ・挨拶、返事、要求の言葉 ・数唱 ・分類 ・一対一対応	・授業カードを見て、名前を言ったり、イラストと文字をマッチングしたりすることができる。 ・登下校時の挨拶、呼名に対する返事ができる。 ・指をさしながら数字を言い、数を数えることができる。	・歌や音楽、イラスト、写真を取り入れて楽しい雰囲気作りをする。 ・児童が興味をもてそうな題材を用意する。絵本などの題材は繰り返しの言葉があるものなど、親しみやすいものを用意する。		
5	なまえをしろ・ひらがなをおぼえよう 「あっちゃんあがつく」「ひらがな」	○	・絵本の読み聞かせ ・食べ物 of 名称理解 ・平仮名50音を読み書き ・平仮名の一文字一音の読み	・絵本を見て、好きな場面を伝えることができる。 ・様々な食べ物 of 名称を知り、語彙を増やす。 ・平仮名の一文字一音 of いくつかを読むことができる。	・言葉掛けを統一したり、一定のルールを決めたりして、繰り返すことのできるようになる。		
6 7	やりとりしよう/ なかまあつめ 「おみせやさん」		・店名、商品名の理解 ・選ぶ、渡す、受け取るなどのやり取り ・やり取り of 会話 ・分類 ・カテゴリー分け ・5までの数量理解 ・10までの数唱	・視覚教材を見て、知っていることを伝えたり、次の場面を予想したりすることができる。 ・食べ物、洋服、おもちゃなど、関係の深いもの同士を結び付けることができる。 ・「いらっしやいませ」「ください」などの、簡単なやり取りをすることができる。	・模型などの具体物を使用し、児童の興味を高め、具体物から半具体物、写真カード、イラストなど児童の実態や成長に合わせて扱う教材を変化させる。		
9 10	くらべてみよう 「おなじとちがう」「おおきい、ちいさい」「おおき、すくない」「ながい、みじかい」		・図形や絵の見比べ ・同じと違うの理解 ・運筆、なぞり書き ・比較「大・中・小」「多い・少ない」「長い・短い」の理解 ・実物による比較	・「おなじ」と「ちがう」が分かる。 ・大きさに注目し、身の回りの物を大中小や長短に分類することができる。 ・大きさを表す言葉で表現することができる。	・児童が扱いやすく、見やすい大きさ of 教材を使用する。		
10 11	やってみよう げきあそび (学習発表会単元)		・簡単なセリフ of ある劇遊び ・簡単な動作、言葉 of 表現 ・ストーリー of 理解	・簡単な話 of 展開が分かる。 ・教員 of 動作を模倣できる。 ・合図に合わせて、声を出したり、言葉を言ったりすることができる。	・授業の流れは見通しがもてるように年間を通しておおよそ一定にする。		
12 1	いろいろなかたち 「かたはめ」「いろいろなかたち」	○	・円、三角、四角 of 型はめ ・円、三角、四角 of 名称 ・円、三角、四角 of 理解 ・円、三角、四角 of 仲間集め	・形に注目して、丸三角四角 of 板を形ごとに分けることができる。 ・形に関心をもち、簡単な構成ができる。	・児童 of 集中力を考慮し、集中 of 持続ができるように、複数の題材を取り入れる。静と動を組み合わせ、「見る、聞く」 of 活動、「操作」 of 活動を取り入れる。		
2 3	かんれんしたことば/ときのうつりかわりをしろ 「あつめてみよう」「あさひるよる」		・自分の経験 of 発表 ・朝・昼・夜(晩) of 理解 ・時間・時刻への関心 ・「昨日」「今日」「明日」 of 理解	・自分の頑張ったことを2～3語文 of 文章にすることができる。 ・がんばったことを平仮名で書くことができる。 ・朝・昼・夜が分かる。 ・昨日 of 話、今日 of 話、明日 of 予定を話すことができる。	・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。		

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

学 部		小学部		学 年		3年	
教科等名		国語・算数		グループ名		白チョコパン	
ねらい		・50音や簡単な単語、身近な物の名称などが分かる。 ・数や量が分かったり、教師と一緒に数えたり、数量を操作したりなどができる。 ・教師の言葉掛けに応じて、正しく動くことができたり、自分の言葉やサインで答えたり、書くことができる。					
担当教員		横井 翔太郎					
年間授業時数		151/260.8					
使用教科書		東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫	
4	がっこうでつかうことば/みじかなもののかぞえてみよう 「おおきなこえでいってみよう」「ともだち」	○	・学校生活の中で使用する事柄の名称理解 ・活動の場面、状況の言葉の理解 ・挨拶、返事、要求の言葉を聞く、話す ・数唱 ・分類	・友達の名前を呼んだり、呼名に対して返事をしたりして出欠確認ができる。 ・挨拶やお礼など、学校生活の場面に応じた言葉を使ったり、マッチングしたりすることができる。 ・指をさしながら数字を言い、数を数えることができる。		・歌や音楽、イラスト、写真を取り入れて楽しい雰囲気づくりをする。 ・児童が興味をもてそうな題材を用意する。絵本などの題材は繰り返し言葉があるものなど、親しみやすいものを用意する。	
5	なまえをしよう・ひらがなをおぼえよう 「あっちゃんあがつく」「ひらがな」		・絵本を見る、聞く ・食べ物の名称理解 ・平仮名50音を読む ・平仮名の一文字一音を読む ・簡単な単語を書く	・絵本を見て、好きな場面を伝たり、選んだりすることができる。 ・様々な食べ物の名称を知り、語彙を増やす。 ・濁音や半濁音を含む平仮名の一文字一音のいくつかを読むことができる。 ・簡単な食べ物の名称を書いたり、なぞったりすることができる。		・言葉掛けを統一したり、一定のルールを決めたりして、繰り返し行うことでやるべきことが分かるようにする。	
6 7	やりとりしよう/ なかまあつめ 「おみせやさん」		・店名、商品名の理解 ・選ぶ、渡す、受け取るなどのやり取り ・やりとりの会話 ・分類 ・カテゴリー分け ・10までの数量理解 ・30までの数唱	・夏、冬に着る洋服、甘い食べ物など、関係の深いもの同士を結び付けることができる。 ・「ください」「どうぞ」などの、簡単なやりとりをすることができる。 ・10までの数を取ることができる。		・模型などの具体物を使用し、児童の興味を高め、具体物から半具体物、写真カード、イラストなど児童の実態や成長に合わせて扱う教材を変化させる。	
9 10	くらべてみよう 「おなじとちがう」「おおきい、ちいさい」「おおきい、すくない」「ながい、みじかい」		・図形や絵の見比べ ・同じと違うの理解 ・比較「大・中・小」「多い・少ない」「長い・短い」の理解 ・実物による比較	・「同じ」と「違う」という言葉を使って表す。 ・大きさに注目し、身の回りの物を大中小や長短に分類することができる。 ・大きさを表す言葉を答えたり、「○は△より～」と表現したりすることができる。		・児童が扱いやすく、見やすい大きさの教材を使用する。	
10 11	やってみよう げきあそび (学習発表会単元)		・簡単なセリフのある劇遊び ・簡単な動作、言葉の表現 ・ストーリーの理解	・簡単な話の展開が分かる。 ・教員の動作を模倣できる。 ・合図に合わせて、声を出したり、言葉を言ったりすることができる。		・授業の流れは見通しがもてるように年間をとおしておおよそ一定にする。	
12	いろいろなかたち 「いろいろなかたち」		・円、三角、四角の名称 ・円、三角、四角の理解 ・円、三角、四角の仲間集め ・定規を使って形を書く。	・形に注目して、身近な物のイラストや写真を丸三角四角に分けることができる。 ・形に関心をもち、簡単な構成ができる。 ・定規を使って、三角四角を書くことができる。		・児童の集中力を考慮し、集中の持続ができるように、45分間の中にいくつかの題材を取り入れる。静と動を組み合わせ、「見る、聞く」活動、「操作」の活動を取り入れる、	
1	しりとりしよう 「しりとりしましょ」		・平仮名の一文字一音を読む ・音節分解、語頭音、語尾の理解 ・カードを使ったしりとり遊び	・濁音、半濁音、拗音、促音を含む簡単なものの名称を読むことができる。 ・選択肢の中から、しりとりがつながるようカードを選ぶことができる。		・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。	
2 3	かんれんしたことば/ときのうつりかわりをしよう 「あつめてみよう」「あさひるよる」		・自分の経験の発表 ・朝・昼・夜(晩)の理解 ・時間・時刻への関心 ・「昨日」「今日」「明日」の理解	・自分の頑張ったことを2～3語文の文章で表すことができる。 ・頑張ったことを平仮名で書いたり、なぞったりすることができる。 ・日常の活動を、朝、昼、夜のいつ行うものか分類することができる。 ・昨日の話、今日の話、明日の予定を、授業カードから選ぶことができる。			

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

学 部		小学部		学 年		3年	
教科等名		国語・算数		グループ名		ピカチュウグループ	
ねらい		・読んだり、書いたりできる文字を増やす。20までの数の数え方や10までの数の表し方が分かる。 ・言葉でイメージする力、言葉で伝え合う力を伸ばす。身の回りの数量や図形に注目し、分類したり、比較したりすることができる。 ・言葉や文字、数で表すことの良さに気付き、学んだことを生活の中で活用しようとしている。					
担当教員		高野 桃佳					
予定授業時数		151/260.8					
使用教科書		東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫		
4	がっこうでつかうことば 「おおきなこえでいってみよう」 10までのかず 「10までのかず」「うんどうかい」「カードづくり」「なんばんめ」		・活動の場面、状況の言葉の理解 ・挨拶、返事、質問、要求、の言葉を聞く、話す ・10までの数量理解 ・順序数 ・何番目の理解(上下前後)	・学校生活の場面に合わせた挨拶、返事、質問、要求の言葉を理解し、やりとりができる。 ・簡単な自己紹介ができる。 ・10までの数について、指定された分を取ることができる。 ・「〇番目は～です。」の指示に応じて、順番に物を並べることができる。	・歌や音楽、イラスト、写真を取り入れて楽しい雰囲気作りをする。 ・児童が興味をもてそうな題材を用意する。絵本などの題材は繰り返しの言葉があるものなど、親しみやすいものを用意する。		
5	なまえをしろ・ひらがなをおぼえよう 「あっちゃんあがつく」「ひらがな」		・平仮名50音を読む、書く ・濁音、半濁音、拗音の表記の理解 ・濁点の理解、使用 ・平仮名の書字	・特殊音節を含む様々な物の名称を平仮名で読んだり、表したりすることができる。 ・正しい姿勢で正しく筆記用具を持ち、平仮名を書いたり、なぞったりすることができる。	・言葉掛けを統一したり、一定のルールを決めたりして、繰り返し行うことでやるべきことが分かるようにする。		
6 7	やりとりしよう なかまあつめ 「おみせやさん」		・店名、商品名の理解 ・選ぶ、渡す、受け取るなどのやり取り ・やりとりの会話	・店名や商品名などを表す平仮名を読むことができる。 ・買い物場面の会話のやりとりができる。 ・硬貨の種類が分かり、指定された枚数を渡すことができる。			
9 10	くらべてみよう 「おなじとちがう」 「おおきい、ちいさい」「おおい、すくない」 「ながい、みじかい」 くみあわせ 「くみあわせてみよう」	○	・同じと違うの理解 ・比較「大・中・小」「多い・少ない」「長い・短い」の理解 ・「多い」「少ない」「同じ」の理解 ・組み合わせ、対にする ・「不足」の理解	・具体物を対応させることで身の回りの物の大きさ、量、長さなどを比較することができる。 ・実際の物の大きさや長さを頭の中で想像して、比較することができる。 ・物を一対一対応させることで、同等や多少が分かる。	・模型などの具体物を使用し、児童の興味を高め、具体物から半具体物、写真カード、イラストなど児童の実態や成長に合わせて扱う教材を変化させる。		
10 11	やってみよう 「げきあそびをしよう」 (学習発表会単元)		・簡単なセリフのある劇遊び ・簡単な動作、言葉の表現 ・ストーリーの理解	・話の展開や自分の役割が分かる。 ・簡単な台詞を言ったり、動作をしたりすることで演じることができる。	・児童が扱いやすく、見やすい大きさの教材を使用する。		
11 12	いろいろなかたち 「かたはめ」「いろいろなかたち」	○	・円、三角、四角の理解 ・円、三角、四角の仲間集め ・「しかく」の特徴 ・「さんかく」の特徴	・図形や線を組み合わせて、見本と同じ図形を構成することができる。 ・丸、三角、四角の簡単な性質を知る。 ・なぞり書きをしたり、定規を使って図形を書いたりすることができる。	・授業の流れは見通しがもてるように年間を通しておおよそ一定にする。		
1	しりとりしよう 「しりとりしましょ」		・平仮名の一文字一音を読む ・音節分解、語頭音、語尾の理解 ・しりとりあそび	・手を叩きながら言葉を言い、語頭音と語尾音を答えることができる。 ・しりとりがつながる言葉を言ったり、選択肢の中からカードを選んだりすることができる。	・児童の集中力を考慮し、集中の持続ができるように、複数の題材を取り入れる。静と動を組み合わせ、「見る、聞く」活動、「操作」の活動を取り入れる。		
2 3	かんれんしたことば 「あつめてみよう」 ときのうつりかわりをしろ 「あさ、ひる、よる」 「きのう、きょう」 「あしたはおやすみ」		・自分の経験の発表 ・平仮名、片仮名表記 ・物の使用の適切な表現 ・朝・昼・晩の理解、時刻・時間への関心 ・「昨日」「今日」「明日」の理解	・自分の頑張ったこと、楽しかったことを平仮名で書いたり、文章にして伝えたりすることができる。 ・昨日、今日、明日の話を絵カードから選び、話すことができる。 ・1日のスケジュールを朝・昼・夜や時刻に合わせて、いつ行うのか分類することができる。	・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。		

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。